



令和 7 年 2 月 21 日

南相馬市議会議長

会派名 無会派 (公明党南相馬市議団)

代表者氏名 志賀 稔 宗

調査研究報告書

- 1 期間 令和 7 年 2 月 13 日 (木) ~ 令和 7 年 2 月 14 日 (金)
- 2 参加者 ① 志賀 稔 宗 ② _____
③ _____ ④ _____
⑤ _____ ⑥ _____
- 3 旅行先及び調査研究内容 別紙のとおり

調査研究内容

月日	令和 7 年 2 月 13 日 (木) ~ 令和 7 年 2 月 14 日 (金)
旅行先	福島県庁 及び 参議院会館
調査研究事項	宇宙産業、児童生徒の英語力、物産館、北泉グリーンパーク支援事業、他、
〔内容〕	
○ 宇宙産業 政策の動向と福島県の取組み 現在の世界の宇宙産業規模は約 54 兆円。全体の $\frac{1}{6}$ が政府予算、$\frac{5}{6}$ が民間衛星打ち上げ関連であり、冷戦以降技術の民間開放等により宇宙開発の中心は官から民へ移行している。県は イノベーションのもと集積しつつある宇宙2次産業の企業が次世代を担う貴重な存在であり、着実に成果につなげたことを期待している。今は開発に集中し、さらには地元企業とともに量産を見届けて欲しい。 予算支援 はもちろん必要、地元自治体、国等と連携しながらイノベーションの好循環を實現したい。	
○ 児童生徒の英語力向上について グローバル化が急速に進展する中で外国語によるコミュニケーション能力は、これまでのように一部の職種ばかりでなく、生涯にわたる様々な場面で必要とされることが想定され、その能力の向上が課題である。平成 29 年 3 月に小・中学校の学習指導要領 が告示、これ以降の中英語教育改善の具体的施策の現状を調査し、今後の英語教育の充実や改善に資するため実施状況調査が行われた。CEFR A1 レベル相当以上を達成した割合は 50% であり中学生の英語力は着実に向上している。	
○ 日本橋福島館視察 県産酒、県産米、外 民芸品等も扱われておりにきかっていた、飲食コーナーも併設され、くつろげる場所が提供される。高相馬との連携を深めることが有効である。	
○ 北泉グリーンパークについて 新しい地方経済・生活環境創生交付金の概要、先進例について指導を受けた。 地方がそれぞれの特性に応じて発展することができるよう、日本経済成長の起爆剤としての規模な地方創生策を講ずるため、地方公共団体の自主性と創意工夫に基づく地域の多様な主体の参画を通じた地方創生に資する地域独自の取組みを計画から実施まで強力に後押しするものだ。本市において十分研究に励むと思われた。	
○ ロケット打ち上げにかかわる実証実験について 宇宙輸送システムを担う事業者による再投資を促進し、更なる国際競争力の強化を通じて、打ち上げ数を増大させ宇宙輸送産業の成長サイクルの構築をめどとする。強い意思と技術力を有する事業者を選抜し集中的に支援する旨説明受け、心強くした。	